

皆様のかかりつけ医として
大切な情報をお届けします

新聞PDFはこちらへ▶



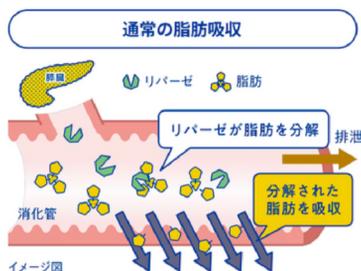
いわい中央クリニック新聞

2024年
4月号
IWAI
CENTRAL CLINIC

受診の際は毎回マイナンバーカード受付をお願いします

同意していただくことで健康診断の情報や他院で処方された薬の情報を参照することができます

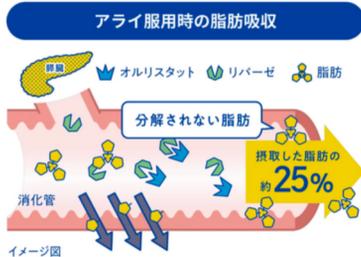
今月薬局で発売開始 内臓脂肪減少薬（アライ）の効果



薬局・ドラッグストアで大正製薬のアライが販売開始となります。食事に含まれる脂肪は膵臓から分泌される脂肪分解酵素のリパーゼにより分解され腸から吸収されます。アライの有効成分であるオルリスタットは消化管管腔内で脂肪分解酵素リパーゼの活性を阻害し、食事由来の脂肪の吸収を抑制。食事由来の脂肪のうち、約25%を便として排泄することが期待できます。

購入条件

- ・成人（18才以上）、男性腹囲85cm以上、女性90cm以上
- ・生活習慣改善の取り組みを行なっていること



油漏れ・便漏れはパッドで対策

服用中の5人に1人は生活の中で油漏れ・便漏れが出ることがあります。服用開始の2週間は特に起こりやすいためオムツや生理用ナプキン、便漏れパッドなどの活用がおすすめです。脂肪分の多い食事ほど消化器症状が強くなるため、脂肪分の少ない食事にする必要があります。



麻疹（はしか）抗体測定

全国各地で麻疹（はしか）の感染事例が報告されています。麻疹は感染力が非常に強く、発症すると重篤な合併症を引き起こすことがあります。

麻疹の予防にはワクチン接種が有効です。麻疹の感染歴がなく、予防接種歴も不明など心配な方は血液検査で麻疹抗体をチェックできます。

麻疹抗体検査
自費診療 税込5,500円



極細径胃内視鏡+AI

当院の胃カメラは極細径（先端径5.8mm）の内視鏡を使用しています。

新型センサーにより高解像度で鮮明な画像で微小な病変の発見に役立ちます。

人工知能（AI）技術と併せて胃癌の早期発見に取り組んでいます。



看護師長からのあいさつ

生活習慣病とは、食事や運動、休養、喫煙、飲酒などの生活習慣が深く関与し、それらが発症の要因となる疾患の総称です。高血圧や脂質異常症、糖尿病に加え、日本人の死因の上位を占める、がんや心臓病、脳卒中も生活習慣病に含まれます。春の気候は運動に適しています。ウォーキングやジョギング、自転車に乗るなど、楽しい運動を取り入れて体を動かしましょう。運動は血液循環を促進し、代謝を高める助けになります。新鮮な野菜が豊富な時期です。積極的に野菜を摂取し、栄養バランスの良い食事を心がけましょう。

院長からのあいさつ

春は寒暖差・気圧の変動が大きい時期です。身体の機能を調節する自律神経が働きすぎ、体調を崩しやすくなります。めまいや倦怠感、日中の眠気などは自律神経の乱れのサインの可能性があります。適度な運動は自律神経を調節するセロトニン分泌に効果があります。

新型コロナ前はインフルエンザ患者数は毎年3月終わりにかけてゼロに近づいていましたが、今シーズンはいまだにインフルエンザが流行しています。B型のウイルスの広がりが背景にあります。感染対策を心がけましょう。